

# NEWSLETTER

No122319

レポートに関する限り今年(2019年)最後の週になります。  
1年を振り返ってみましょう。この1年で多くを学んだと思います。学んだことが実績になり積み重なっていきます。レポートに述べられている内容(オペレーションやハンド操作の例)を参考にあるいはそのまま真似をして根気強く継続してきた方もそれなりに、控え目に言っても、相当にいい結果が出たはずで、数字の構造(数値構造/価値構造)がもたらす不思議な力を感じることができたはずで、

バリューチェーンの数字がまるで読めない、OTV/ITVの区別がつかない、STVの意味がわからない、マトリックスとトライアングルの図形化や幾何学の関係がイメージできない...等々、理論的背景がまるで見えていないのに1年間レポートに掲げられた内容(オペレーションやハンド操作の例)を真似て大きな成果をあげた方から報告がありました。ひとりやふたりではないので、私の想像より多く、他にもいらっしゃるのではないかと思います。

理論的背景、数学的原理、幾何学的関係、数値/価値の意味、それぞれのタイプのハンドがもたらすCF(キャッシュフロー)の関係、数式としてのハンド、ハンドの操作の意味、ローテーションとCFの関係、数値の循環性及び連続性、OTV/ITV及びSTV、コンバージョン、バリューチェーンの構造など理論的背景をよく理解していないとこれまで実践でうまくやってもいずれ壁にぶつかること

になります。*実践と理論的背景を深く理解するのには、  
まとめて下さい。*

来年に向けて実践と理論をさらに重ね合わせてさらに進んで「いきたい」と思います。  
12月のレポートは来年に向けたものです。

12月のレポートに掲げた内容において実践にダイレクトに関係することにおいて最も重要なポイントをもう一度以下に掲げますのでご覧ください。

まず、no120119に掲げた内容です。

“合理性”がナンバーオペレーションの生命線です。

*重複しますが大事なポイント  
必ず繰り返します。*

\*\*\*\*\*

ナンバーオペレーションは数学を利用した事業です。

数学は合理性(“rationality”)を追求する科学で、それがナンバーオペレーションの生命線です。

合理性とは以下のような意味です：

“Rationality is the quality or state of being rational—that is, being based on or agreeable to reason.”

(「合理性とは合理的であることの質または状態であり、それは、すなわち、“reason”に基づいているかそれに一致している。」)

“reason”には「理由、原因、理性、思考(判断)、分別、道理、理屈」の意味があります。

“reason”の繋がりが“logic”(論理、論理性)です。

論理とはこのようなものです：

